

アトリエ「自分の発音を改善しましょう。」

鵜澤恵子

学生時代にフランス語の先生に言われました。「教師になるのなら、あなたの発音ではいけない。音声学が専門の先生を紹介するからすぐに直しなさい。」

初心者の頃から大教室やラボで行われる授業など、いくつもの発音の授業を受けました。そのどれにも納得できず、自分がフランス語の発音に問題を抱えているという認識だけがありました。紹介された先生は私の発音の欠点を指摘し、改善のしかたを教えてくださいました。当時の私はフランス語でコミュニケーションが取れる状況でしたので、私がどのように発音しているかを説明し、何を変えれば発音が改善されるかを先生が考えてくださるといふ、共に話し合いながらの授業でした。ここで身につけた発音は私の財産となりました。そして音声学に興味を持った私は、フランス語教育学 (*didactique du français*)とは別に音声学の授業にも登録しました。

振り返ってみると、本当に私は幸運だったと思います。私の発音を疑問視したフランス語の先生がいてくださり、専門的な知識で私の発音を直して下さった先生との出会いがあったお蔭で、教師としての最初の授業から自分の発音を気にかける必要がなく、学習者や授業内容に集中できました。

発音は適切な練習をすれば必ず直りますが、発音と一口に言っても、*prosodie* と *sons* のどこに問題点があるのかで練習方法は大きく異なります。一点を改善するだけで長年の悩みが解消される事もあります。もしご自分の発音に自信がない、改善点は理解しているが方法がわからないという方がいらっしゃれば、この機会に一緒に考え練習してみませんか。

本アトリエでは一般的な音声学の話をするのではなく、各人の発音における問題点を明らかにし、それを改善するための練習をします。そのため、先着順に15~20名程度をSJDF大会前にメールで受け付け致します。アトリエの主旨をご理解いただき、[uzawa2019atelier@gmail.com](mailto:uzawa2019atelier@gmail.com)にお申し込みください。